

専門実践教育訓練明示書

講座の名称	教育学研究科 教職実践開発専攻 学校管理職養成コース															
実施方法	① 通学 (昼間・夜間・土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)															
指定講座番号	7	1	0	0	8	—	1	7	2	0	0	1	—	4		
講座の創設年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間				過去一 年の講 座実績	入講者数(15人)				修了者数 (15人)						
	平成16年4月1日				令和5年9月30日まで											
訓練期間	24ヶ月				総訓練時間				876時間							
1. 教育訓練目標																
①取得目標とする資格の名称、目標レベル					<input type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 () <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input checked="" type="checkbox"/> 専門職大学院 (教職修士(専門職)) <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ()											
					教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等 教育職員専修免許状											
②①に係る資格・試験等の実施機関名称					岐阜大学大学院											
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等					教職実践開発専攻に指定している必須科目、選択科目を受講し、修了単位(46単位以上)を取得しなければならない。											
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況					学校管理職											
2. 教育訓練の内容																
教科 (カリキュラム)																
					時間						使用教材名					
専攻共通科目					224時間											
開発実践報告に関する科目					96時間											
学校管理職臨床実習					300時間											
特別支援学校管理職臨床実習					192時間											
学校管理職養成に関する科目					64時間											
自由選択科目																
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)																
①受講するに当たって必要な実務経験等					特になし											
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準					教員免許状を取得(見込みを含む)している者 又は本研究科が教員免許状を取得している者と同等とみなす者											
③その他																

〔特記事項〕

--

専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	15	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	15	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	15	人	受験率(③/②)	100	%
④ ③のうち合格者数	15	人	合格率(④/③)	100	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	0	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	15	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	12	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	12			
	2 非正社員、派遣社員		人		
	3 その他の就業(自営業等)		人	②B: 非就業者計	12
	4 非就業		人		
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	7	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	12
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる		人		
	3 社内外の評価が高まる	1	人		
	4 円滑な転職に役立つ		人		
	5 趣味・教養に役立つ	3	人		
	6 その他の効果	1	人		
	7 特に効果はない		人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる		人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	12
	2 希望の職種・業界で就職できる		人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる		人		
	4 趣味・教養に役立つ		人		
	5 その他の効果		人		
	6 特に効果はない		人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した		人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	12
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した		人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した		人		
	4 就職していない		人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	6	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	12
	2 おおむね満足	5	人		
	3 どちらとも言えない	1	人		
	4 やや不満		人		
	5 大いに不満		人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況)、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	各受講科目に設定している学習目標と学習到達度に照らして評価する。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	

専門実践教育訓練明示書

6. 受講効果の把握方法																
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的な基準)	前期・後期における受講科目の成績評価において60点以上を修得する。															
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	各受講科目に設定している学習目標と学習到達度に照らして評価する。															
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	修了要件46単位以上を取得する。															
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	各受講科目の成績評価。学校管理職実習については、実習先の教育行政機関や学校等の評価を踏まえる。															
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	各科目では随時質問を受け付け、指導している。また、週1回のゼミにおいて指導教員が受講者の習得度・理解度を確認し、指導・助言を行う。															
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	受講中は、指導教員及びコース、専攻で指導を行っている。また、大学と岐阜県教育委員会、勤務先学校による連携連絡協議会を設置しており、三者が連携して指導を行っている。修了時は、岐阜県教育委員会が学校管理職や研修講師として学修成果を活用する。															
8. その他の事項																
指定教育訓練実施者名及び代表者名	国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学 (施設長: 学長 森脇 久隆)															
住所及び連絡先	岐阜県岐阜市柳戸1番1 TEL 058-230-1111															
施設名称及び施設長名	同上															
住所及び連絡先																
苦情受付者	氏名 牛丸 純介 所属 教育学部学務係	事務担当者	氏名 太田 雄介 所属 教育学部学務係													
連絡先	TEL 058-293-2206	連絡先	TEL 058-293-2356													
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,353,600 円													
支払い方法	① 一括払	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	282,000 円													
	② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	1,071,600 円													
③ 両方可能	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 10%; border: none;">第1期</td> <td style="border: none;">267,900 円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">第2期</td> <td style="border: none;">267,900 円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">第3期</td> <td style="border: none;">267,900 円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">第4期</td> <td style="border: none;">267,900 円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">第5期</td> <td style="border: none;">円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">第6期</td> <td style="border: none;">円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;">(うち、必須教材費 円)</td> </tr> </table>		第1期	267,900 円	第2期	267,900 円	第3期	267,900 円	第4期	267,900 円	第5期	円	第6期	円	(うち、必須教材費 円)	
第1期	267,900 円															
第2期	267,900 円															
第3期	267,900 円															
第4期	267,900 円															
第5期	円															
第6期	円															
(うち、必須教材費 円)																
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		28,975 円													
	① 任意の教材費 (税込額)		20,495 円													
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)		円													
	③ 施設維持費 (税込額)		円													
	④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		8,780 円													
	3. 総額 (1+2) (税込額)		1,382,575 円													